

自校採点の結果を活用した指導改善

正答率の低かった問題に対して、6~7月に取り組む指導例を紹介します。

小学校
国語

自校採点管内正答率

65.1%

自校採点県正答率

67.7%

県平均との差
-2.6ポイント

設問の出題の趣旨

お互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合いができるかどうかをみる。

過去の関連問題も正答率が低い
(全国正答率)

H24年B二 52.9%

H24年B三 52.5%

どの資料に書いてある？
どんな事実や事例がある？

正答率が低い要因として考えられること

結論だけでなく、複数の意見の違いを伝えたり、意識したりする経験が不足している。

授業づくりのポイント

話し合う活動において、お互いの考えの共通点や相違点を整理しながら、捉えさせる。

具体的な指導例(指導時期6~7月上旬)

新しい国語(東京書籍)第5学年「立場を決めて討論しよう」

討論の準備がポイント!

① 自分の立場を決めて意見文を書く。

根拠(資料・事実)

だから

自分の考え立場

<説得力を高めるPOINT!>

- ①具体的な数値や資料を示す。
- ②相手との相違点や共通点にふれる。
- ③自分の経験や調べたことを入れる。
- ④相手の考えを受け止める姿勢を示す。

② 同じ立場のグループで、それぞれの文を読み合い、より説得力のある理由を考え、グループの主張を整理する。

<指導の視点>

- 相手の主張との共通点や相違点を明確にさせる。
- 自分の考えと事実(資料)の違いを意識させる!

【参考資料】新編新しい国語5年(東京書籍)指導編

H29小国語A1

1

野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う(報告場面の一部)です。これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【報告場面の一部】

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかやくイメージの言葉にするまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中島 私のグループでは、まわりを照らすというイメージから「太陽」がよいという意見にまどまりました。

西山 ほかのグループでも「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るいし、まわりをあたたくすることもできるからです。

野村 私のグループも、明るいというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまどまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

(問い) 野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切かもの、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合っただけで、まどまりを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がらがうことを報告している。

自校採点の結果を活用した指導改善

正答率の低かった問題に対して、6~7月に取り組む指導例を紹介します。

中学校
国語

自校採点管内正答率
46.2%
自校採点岡山県正答率
52.0%

県平均との差
-5.8ポイント

設問の出題の趣旨

相手に分かりやすいように語句を選択して話すことができるかどうかをみる。

H29中国語A7

正答率が低い要因として考えられること

語句を断片的に捉えたり、文脈を意識させたりする工夫や経験が不足している。

授業づくりのポイント!

- ① 話し合う活動において、ビデオを活用して、互いの発言を客観的に検討できる手立てを行う。
- ② 話し合う活動を観察するグループを設定して、評価する。

具体的な指導例（指導時期6・7月）

現代の国語(三省堂) 第2学年 P144~P150 「異なる立場や考えを尊重して」

- 1 パネルディスカッションの概要を知る。
- 2 テーマについて調べ、グループの意見をもつ。
- ③ **パネリストとして練習する。**
- ④ **模擬ディスカッションを行う。**
- 5 パネルディスカッションを行う。
- 6 これまでの話し合いを振り返る。

③ 練習の様子をビデオ(動画)にとり、グループで振り返る。
使用している語句や文脈に注目させ、説得力の高い発言や不十分な発言等を考えさせる。

④ グループ内で、自分たちの提案に対する質問や反論を述べながら、意見交換をする時間をとる。その際、観客に徹する生徒を置き、語句や文脈について、アドバイスをさせるようにする。

7

設問は、国語の授業で本を紹介するために学校図書館で先生に相談しています。次は、皆さんと先生との会話です。これを文脈で、あとの問いに答えなさい。

先生 国語の授業で、「青春」というテーマで本を紹介することになりました。自分でも探しているのですが、なかなかこれという本が見つかりません。何かよい本はありませんか。

生徒 私は、どのような本を取り上げたいか思っています。

先生 何か、何か打ち込みながら成長していく人が出てくる本を二冊紹介したいと考えています。一冊はサンカキに打ち込む中学生を主人公とした小説を選びました。もう一冊はそれ以外を取り上げたいと思っています。

先生 もう一冊の本もスポーツに関係する本にしようかと考えています。

先生 それならば、野球に打ち込む中学生を主人公とした小説がありますよ。

先生 いえ、そうではないです。一冊は小説を取り上げるので、もう一冊は違うものにした方がいいです。

先生 そうだったんですね。では、実際にあった出来事をもとにした本はどうですか。

先生 それは思いつきませんでした。具体的な話のようなものがありますか。

先生 音楽に打ち込む人を取り上げた本や、演劇に打ち込む人を取り上げた本などがあります。音楽や演劇の側面を捉える本です。

先生 特別に音楽の側面を見てみます。ありがとうございます。

先生 皆さんの一語一語の発言のすぐあとに、先生から一語一語の発言を引き出すためには、皆さんは一語一語の発言のすぐあとに「どうしてですか。次の□に当てはまる言葉や事柄を選んでください。」と取り上げたいと思っています。